

# 山形県感染症発生情報

第17週(平成21年4月20日～平成21年4月26日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	0		
咽頭結膜熱	6	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	126	▲	多発中
感染性胃腸炎	310	▲	多発中
水痘	52	▼	多発中
手足口病	0	▽	
伝染性紅斑	3	▲	
突発性発しん	23	▽	
百日咳	0	▽	
ヘルパンギーナ	0		
流行性耳下腺炎	33	▽	
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	288	▼	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	5	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0	▽	
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	2	△	
無菌性髄膜炎	2	▲	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*2009年1月～)	
	第17週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	5	4	4	65
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	6
	バラチフス	0	0	0	0
4,5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	2
	アメーバ赤痢	0	0	0	0
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	1	0	2
	髄膜炎 細菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0
	麻しん	1	0	0	4

- インフルエンザは、前週の約8割まで減少した。村山・置賜地区では減少したものの、最上・庄内地区では前週とほぼ同数の報告であった。今シーズンの累積報告数は18,716人となり、過去10年間で最も多い。迅速キットによる陽性例では、各地区ともにB型が多く検出されている。手洗い、うがいの励行、マスクの着用など予防対策が重要である。
- 感染性胃腸炎は、3週連続で増加しており、特に村山・庄内地区での増加率が高い。患者は1歳をピークに、小児が中心。ヒトからヒトへの感染力が強いため、感染者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、3週連続で増加している。置賜地区では米沢市を中心に増加しており、前週の約2.5倍に増加した。患者は、4歳をピークに2～7歳の小児が中心。
- 無菌性髄膜炎の患者が、村山地区から2名報告された。
- 結核は、患者が庄内地区から1名(田川 1)、置賜地区から2名(東南置賜 2)、無症状病原体保有者が置賜地区から2名(東南置賜 2)、計5名報告された。
- 麻しん(検査診断例)の患者が、最上地区から1名報告された(8ヶ月 男、推定感染地:県内、ワクチン接種歴:なし)。  
・第13週分として、村山地区からジアルジア症の患者1名が追加報告された(感染地:ニカラグア国)。

(4月28日現在 山形県衛生研究所)